

2013年11月5日
東急不動産株式会社
取締役社長 金指 潔

当社子会社等が運営するレストランにおける メニュー表示に関するお知らせ

今般生じている一連のホテル・レストラン等のメニュー誤表示、偽装表示問題を受け、当社または当社子会社等が保有・運営する施設において、メニューの表示に問題がないか、緊急的な自主調査を実施いたしました。その結果、子会社である株式会社東急リゾートサービス等が運営する東急ハーヴェストクラブのレストラン及び関西カントリークラブのレストランにおいて、以下の事例があることが確認されました。

- ① 朝食膳の「卵料理（御殿場産卵使用）」について近隣の愛甲郡産の卵を使用していた事例（1事例）
- ② 「群馬舞茸朴葉焼き」について群馬県産の舞茸が入手困難な時期に新潟県産の舞茸を使用するなど、食材の入荷が困難であった際や安定供給が得られなかった際等に、代替品を提供していた事例（8事例）
- ③ 「鮮魚」と表示していたメニューについて鮮魚を仕入れた後に冷凍で保存していた事例や冷凍の魚を使用していた事例（8事例）

当社は、上記のようなメニュー表記の問題があったこと、及び、当社グループ会社をご利用のお客様に対して多大なるご心配をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

当社は既にこのような表記を改め、同時に当社グループ会社運営のレストランに共通のメニュー表記に関するガイドラインを定めました。また、メニュー表記はもとより、食材の選定、食品の衛生管理をより徹底して参ります。

今後は、同様の事態の発生を防ぐとともに、当社グループの社会的責任を遵守するためにも、原因に関する調査を含めた深度ある調査を更に徹底して行った上、当社グループ会社内におけるチェック体制の確立を図ってまいります。

以 上